

第2章 アンケート調査結果による市民意識

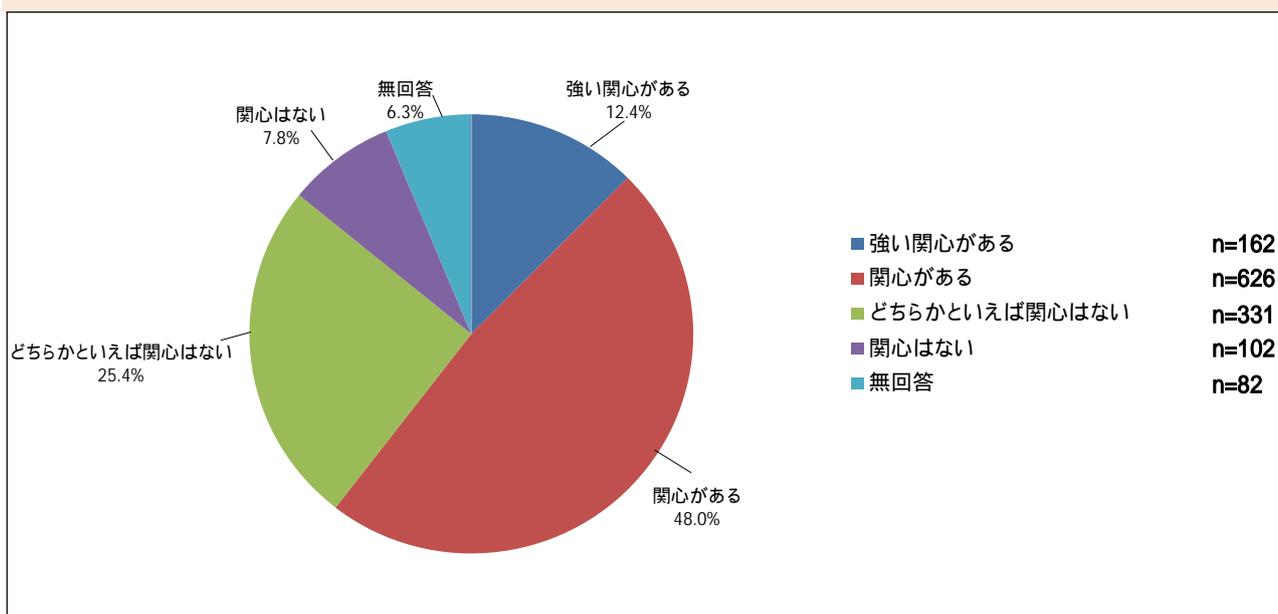
第2章 アンケート調査結果による市民意識

- ・ 本方針を策定するにあたり、市民の公共施設の利用状況や公共施設に対する意識などを把握するため、市民アンケートを実施しました。その結果から市民の皆様それぞれが抱く公共施設の今後のあり方のイメージや潜在的なニーズを汲み上げ、課題の整理や改善の方向性を策定するために活用していきます。

実施方式

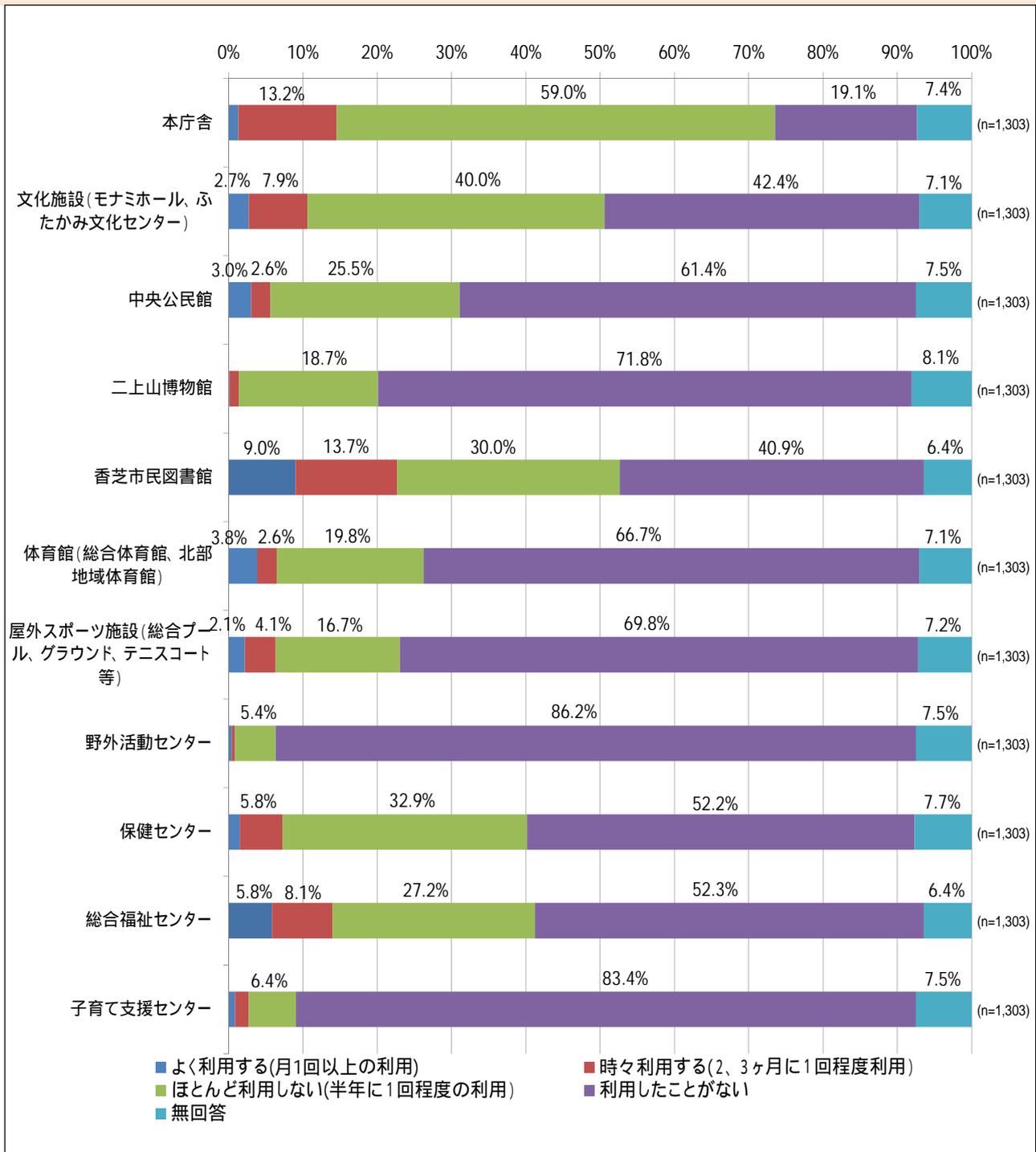
調査期間	: 平成27年6月1日(月)から平成27年6月15日(月)
調査対象	: 平成27年4月1日現在、16歳以上の香芝市民2,000世帯 (無作為抽出)
実施方法	: 郵送法による無記名アンケート調査方式
有効回収数	: 683世帯(有効回収率34.1%)
回答者数	: 1,303人

【市の公共施設の現状と課題について、あなたはどのくらい関心をお持ちですか】



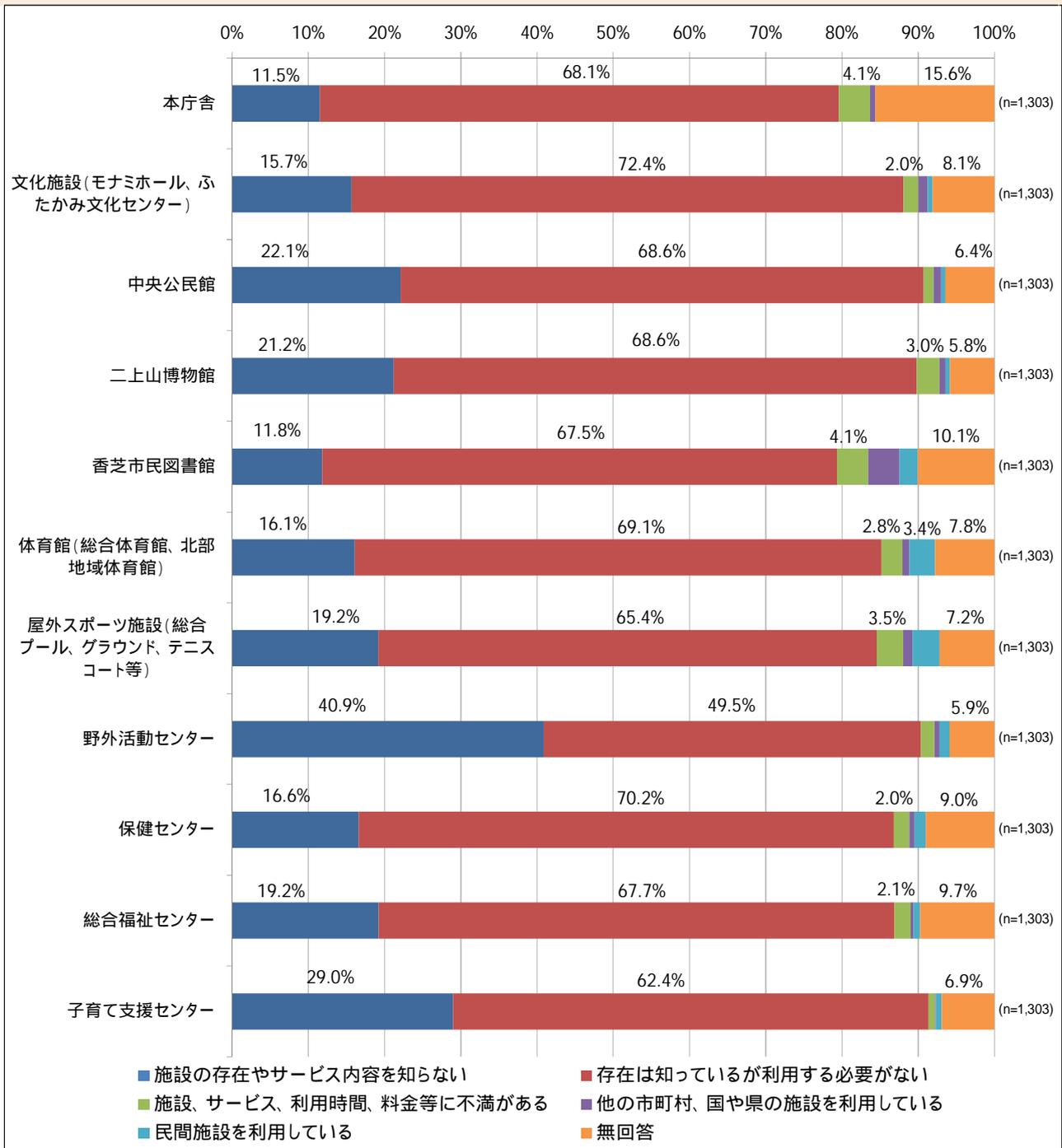
- ・ 市の公共施設の現状と課題について、「強い関心がある」「関心がある」と回答した市民が約60%を占めています。

【あなた（ご自身）は市の公共施設（ ）をどのくらい利用していますか。数字を1つで囲んでください。】 不特定の市民が自由に利用する施設を対象としています。



- ・ 市の公共施設の利用状況については、全ての施設で「ほとんど利用しない」または「利用したことがない」と回答した市民が約7～9割を占めています。
- ・ 香芝市民図書館については、「よく利用している」「時々利用している」と回答した市民が22.7%にのぼり、全施設の中で最も高くなっています。本市の人口に換算すると「よく利用している」または「時々利用している」市民は17,000人程度になると見込まれます。

【前問で、「2. ほとんど利用しない」「1. 利用したことがない」と回答された方にお聞きします。その理由は主にどのようなことでしょうか。数字を1つで囲んでください。】



- ・市の公共施設を「ほとんど利用しない」「利用したことがない」理由では、野外活動センターを除くすべての施設で「施設の存在は知っているが利用する必要がない」が約6～7割を占めています。
- ・野外活動センターでは「施設の存在は知っているが利用する必要がない」(49.5%)に加え「施設の存在やサービス内容を知らない」も40.9%を占めています。このほか、子育て支援センター(29.0%)、中央公民館(22.1%)、二上山博物館(21.2%)でも「施設の存在やサービス内容を知らない」が2割以上となっています。

【「2. 他の市町村、国や県の施設を利用している」「1. 民間施設を利用している」と回答された方にお聞きします。具体的にどの施設を利用していますか。また、その施設を利用している理由は主にどのようなことでしょうか。該当するものを1つで囲んでください。】

		利用施設回答者数	利用理由										
			自宅から近い	職場から近い	交通アクセスが良い	設備が整っている	駐車場等がある	利用料金が安い	知人・友人と会える	興味のある講座等が開催されている	その他	無回答	
公共施設	広陵町	合計件数	21	6	-	3	7	2	-	-	-	-	3
		内) 図書館	20	6	-	3	7	2	-	-	-	-	2
	橿原市	合計件数	7	-	-	-	1	-	-	1	1	4	-
	葛城市	合計件数	7	1	1	-	4	-	-	-	-	1	-
		内) 総合福祉施設	4	1	-	-	2	-	-	-	-	1	-
	御所市	合計件数	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
	大和高田市	合計件数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	河合町	合計件数	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	奈良市	合計件数	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	王寺町	合計件数	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	川西町	合計件数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	田原本町	合計件数	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	天理市	合計件数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	宇陀市	合計件数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	大阪府内	合計件数	13	-	3	-	1	-	-	-	1	3	5
地域不明	合計件数	13	-	2	-	2	-	-	3	1	-	5	
民間施設	合計件数	43	4	-	3	17	-	1	3	2	6	7	
	内) 体育施設	29	2	-	3	14	-	1	2	1	1	5	
公民不明	合計件数	10	-	1	-	3	1	1	-	2	2	-	
全計		129	11	8	7	37	3	2	7	9	18	27	

- 他の自治体の施設や民間の施設等の利用状況についてみると、他の自治体の施設では、広陵町立図書館が20件で最も多くなっています。その他には橿原市や葛城市の施設の利用も各7件あります。民間の施設では体育施設の利用が多くなっています。
- 利用理由では「施設が整っている」が最も多くなっています。

【将来も安全で使いやすい施設サービスを提供していくために、市では、保有する施設の統廃合や機能の複合化・多機能化（注）による「総床面積の削減」や「長寿命化」、「まちづくり」、「民間活力の活用」、「受益者負担の見直し」などの視点を踏まえて、以下の方策を検討しています。これら市の保有する施設全般に関する方策について、あなたはごどう思いますか。数字を1つで囲んでください。】

【賛成・反対状況】

<用語説明>

- 1 賛成率：「積極的に実施すべき」、「どちらかと言えば実施すべき」の合計の割合。多数決の観点からの賛成、反対を示したもので、50%超なら賛成多数となる。
- 2 積極的賛成/反対比率：「積極的に実施すべき」を「実施すべきではない」で割った率。特に強い意志を持つ人だけを対象にその大きさを見たもので、1超なら積極的賛成多数、1未満なら積極的反対多数である（「どちらかといえば実施すべき」、「どちらかと言えば実施すべきでない」を除いた比率である。）。

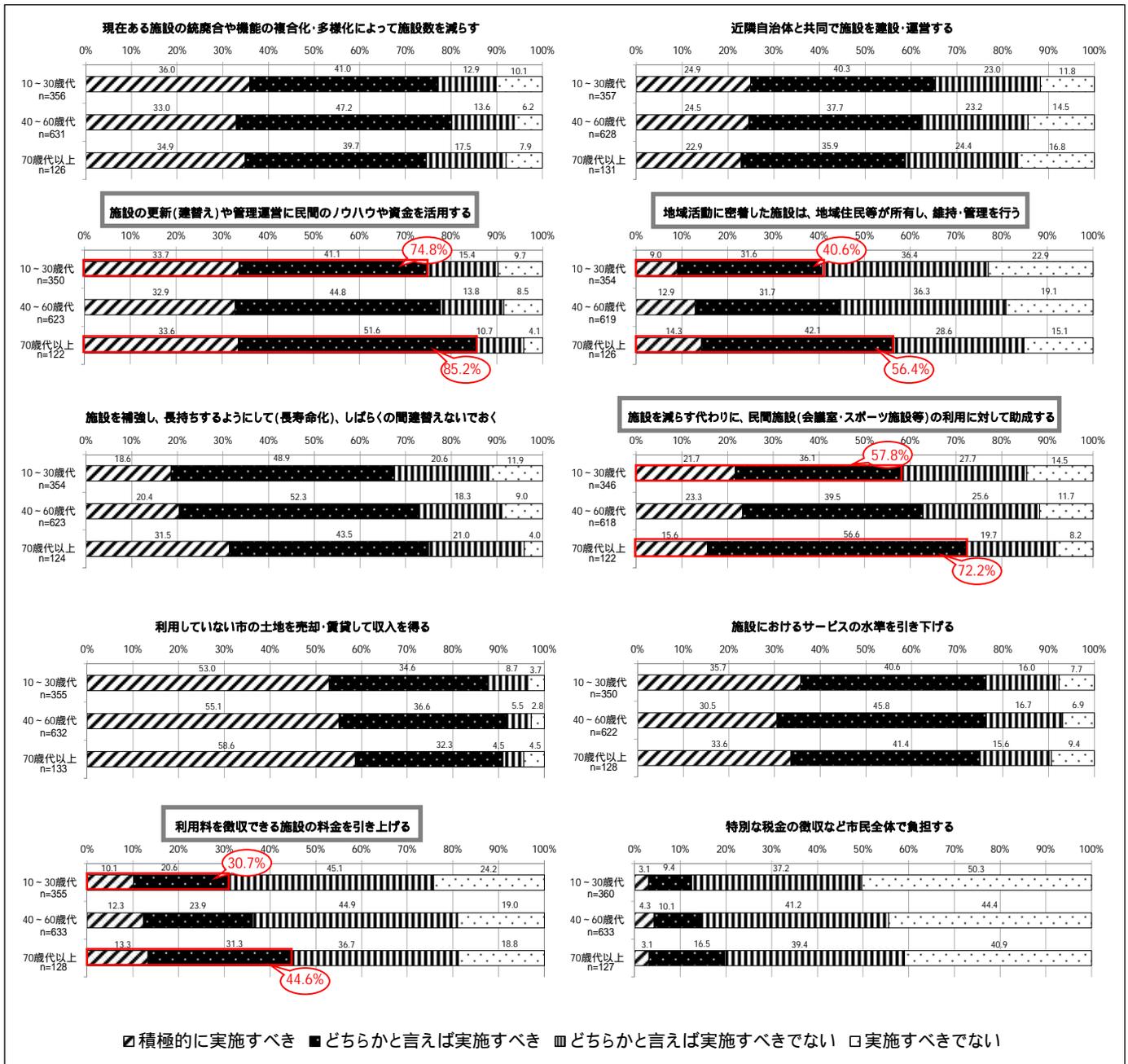
	賛成率 (%)	積極的賛成 / 反対比率	
賛成	利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る	79.8	17.1
	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・多様化()によって施設数を減らす	68.9	4.5
	施設の更新(建替え)や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	67.1	4.0
	施設におけるサービスの水準を引き上げる	65.8	4.2
	施設を補強し、長持ちするようにして(長寿命化)、しばらくの間建替えないで置く	62.0	2.3
中立	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	55.2	1.8
	施設を減らす代わりに、民間施設(会議室・スポーツ施設等)の利用に対して助成する	53.3	1.8
反対	地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持・管理を行う	39.4	0.6
	利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる	31.1	0.6
	特別な税金の徴収など市民全体で負担する	12.7	0.1

賛成率 = (「積極的に実施すべき」 + 「どちらかと言えば実施すべき」) ÷ 全体
 積極的賛成 / 反対比率 = 「積極的に実施すべき」 ÷ 「実施すべきではない」

(注) 不明を除いた結果である。

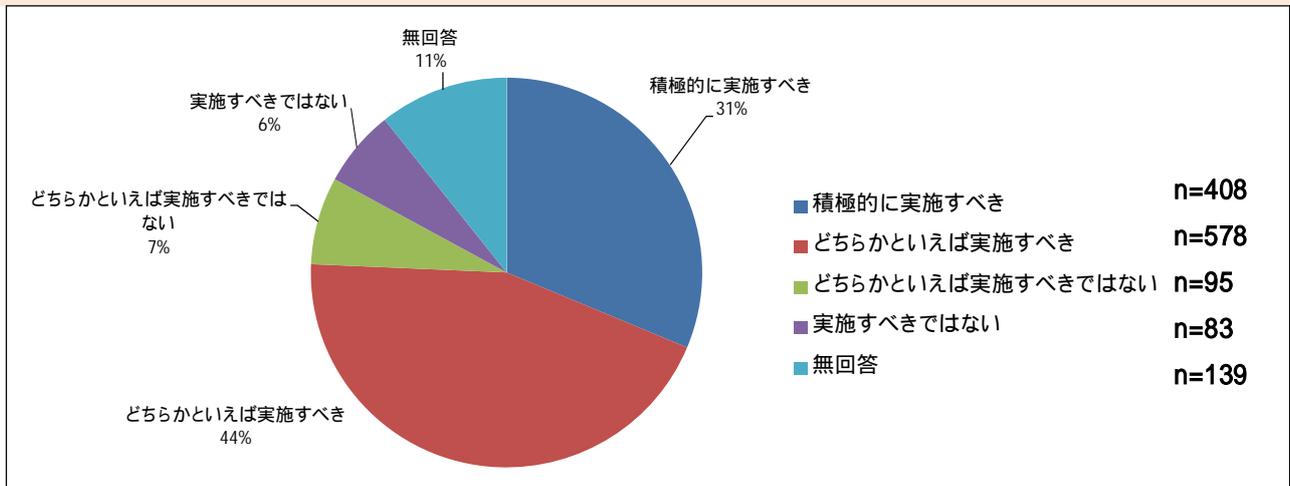
- ・ 施設全般に関する方策については、『利用していない市の土地を売却・賃貸して収入を得る』が賛成率及び積極的賛成/反対比率において最も高く評価されています。
- ・ 一方、『特別な税金等の徴収など市民全体で負担する』が賛成率及び積極的賛成/反対比率において最も低く評価されています。

< 年齢階層別 (3 区分) の結果 >



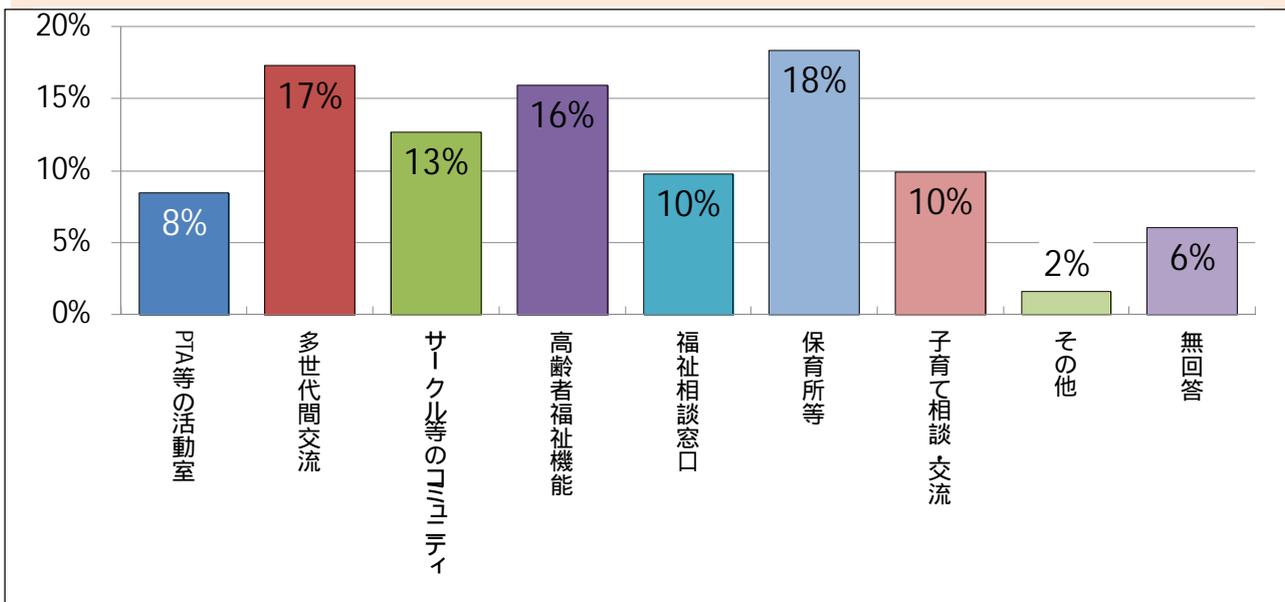
- 消極的賛成を含めた賛成(「積極的に実施すべき」または「どちらかと言えば実施すべき」と回答)の割合に着目すると、年齢階層間の差が10.0ポイント未満に留まっている項目が多く、年層を超えて共有されている考え方が比較的多くあります。
- 年齢階層別で10.0ポイント以上の差が出たものは、『施設の更新(建替え)や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する(10～30歳代74.8%、70歳代以上85.2%)』、『地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持・管理を行う(10～30歳代40.6%、70歳代以上56.4%)』、『施設を減らす代わりに、民間施設(会議室・スポーツ施設等)の利用に対して助成を行う(10～30歳代57.8%、70歳代以上72.2%)』、『利用料を徴収できる施設の料金を引き上げる(10～30歳代30.7%、70歳代以上44.6%)』となっています。

【公共施設の見直しにあたって、市の保有する公共施設延床面積の過半を占める学校の見直しが大きなポイントになると考えられます。今後の学校のあり方として、「余裕教室を活用し、地域の拠点となるような機能を導入する」ことについて、あなたはどのように思いますか。1つ選んでください。】



・ 学校の「余裕教室を活用し、地域の拠点となるような機能を導入する」ことについては、「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」が70%以上を占めています。

【前問「余裕教室を活用し、地域の拠点となるような機能を導入する」に「4.積極的に実施すべき」「3.どちらかといえば実施すべき」と回答された方にお聞きします。余裕教室に導入して欲しい機能は何ですか。最大で3つまで、強く当てはまる理由順に、()内に 、 、 をご記入ください(1つ、または2つでも構いません)】



・ 余裕教室に導入して欲しい機能については、「保育所等」「多世代間交流」「高齢者福祉機能」が15%以上に上っています。

< 市民アンケートのまとめ >

- 香芝市に住む理由として、「交通が便利」が最も多く、次いで「自然環境がよい」となっており、「公共施設の充実」は重視されていない。
- 約6割の市民が、公共施設の現状と課題に関心があると回答している。
- 公共施設の利用状況は、本庁舎を除くと少ない施設で約4割、多い施設では9割近い市民が「利用したことがない」と回答しており、その理由では「利用する必要がない」が最も多い。
- 公共施設全般に関する方策については、「未利用地の売却」や「統廃合・複合化」などの賛成率が高く、「地域住民管理」や「特別税の徴収」などは賛成率が低い。
- 学校の余裕教室の活用については、賛成率が7割以上と高く、「多世代交流」や「保育所」「高齢者機能」の導入等の要望が多い。